

# 日程表

## ■ 第1日目 9/23(木・祝)

	A会場	B会場	C会場	D会場
9:00				
10:00	9:40～10:40 <b>大会長講演</b> (学会趣旨説明) 産業保健と法 ～産業保健法学の狙い～			
11:00	10:50～11:50 <b>招待講演</b> 組織における制度と文化 ～社会心理学の視点から～			
12:00		12:00～13:00 <b>協賛セミナー①</b> 産業医の誠実義務をめぐる 法的リスクの検討 協賛：(株)産業予防医業機構		
13:00				
14:00	13:10～14:10 <b>教育講演①</b> 健康情報等の取扱いと法	13:10～15:10 <b>連携学会との 共同シンポジウム③</b> 【日本職業・災害医学会】 海外勤務者の健康問題と 労災事例の検討	13:10～14:10 <b>関係学問の最前線①</b> (精神医学) パーソナリティ障害と 発達障害の境界 －性格と病気の不可分性－	13:10～14:10 <b>一般演題①～③</b> (マクロ×未然防止領域)
15:00	14:20～15:20 <b>特別講演①</b> 労災補償の行政審査と司法審査 －職業病の医学基準と法学基準－		14:20～15:20 <b>特別講演③</b> 日本医師会における 産業保健の取り組み	
16:00	15:30～17:30 <b>シンポジウム①</b> 神奈川SR経営労務 センター事件の教訓 ～どうすればよかったのか、 これからどうすべきか～	15:30～17:30 <b>連携学会との 共同シンポジウム②</b> 【日本産業精神保健学会】 労災保険受給者の復職支援と 療養の在り方 ～精神障害者を念頭に～	15:30～17:00 <b>ワークショップ①</b> 社会保険労務士と産業保健 スタッフの連携のあり方 ～働く人の笑顔を作る事例 を通して考える社労士の これからの使命～	15:30～17:30 <b>シンポジウム②</b> 化学物質管理の法政策 ～アスベスト訴訟、 胆管がん問題を踏まえて～
17:00				
18:00	18:00～ <b>懇親会</b> (オンライン開催)			

■ 第2日目 9/24(金)

	A会場	B会場	C会場	D会場
9:00				
10:00	9:40~11:40 <b>大会企画シンポジウム</b> 産業医制度の今とこれから (産業医研修会)	9:40~11:40 <b>緊急企画</b> 新型コロナウイルス感染症の 労務問題と法 協賛: (一財)日本予防医学協会	9:40~11:40 <b>シンポジウム③</b> テレワークにおける 健康管理政策と法	9:40~11:40 <b>連携学会との 共同シンポジウム①</b> 【日本産業ストレス学会】 (シリーズ)裁判所による産業 ストレスの認定を検証する(1)
11:00				
12:00		12:00~13:00 <b>協賛セミナー②</b> いわゆるパワハラ防止法の 措置義務をめぐって ～法律実務家と医療職の専門性を 持ち寄って生まれるもの～ 協賛:さんぎょうい(株)		
13:00	13:00~14:00 <b>特別講演②</b> 労働衛生行政の動向 (産業医研修会)	13:00~14:00 <b>教育講演②</b> ESG/SDGsは労働安全衛生の 水準を引き上げるか	13:00~14:00 <b>関係学問の最前線②</b> (労働法学・比較法) ドイツにおける 精神障害者の解雇法理	13:00~14:20 <b>一般演題 ④～⑦</b> (マイクロ×未然防止領域)
14:00				
15:00	14:10~16:10 <b>模擬裁判</b> 組織に適応できずに病気休職 した企業内弁護士の復職判定 協賛:ピースマインド(株)	14:10~15:40 <b>ワークショップ③</b> 遠隔産業保健 ～それって法的に大丈夫?～	14:10~15:40 <b>ワークショップ②</b> 産業保健法学と心理職 ～弁護士と心理職の協働～	
16:00				
17:00		15:50~17:20 <b>関係学問の最前線③</b> (産業医学) 産業保健活動の成果とは何か、 それは測れるのか?	15:50~17:20 <b>ワークショップ④</b> 発注者・委託者の責任を考える	15:50~17:20 <b>事例検討</b>
	17:20～ 閉会の挨拶			
18:00				

## プログラム

### (1) 講演

大会長講演	産業保健と法 ～産業保健法学の狙い～
日時・会場	9月23日(木・祝)9:40～10:40・A会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司会	清水 英佑(東京慈恵会医科大学 名誉教授)
演者	三柴 丈典(近畿大学法学部法律学科 教授)

招待講演	組織における制度と文化 ～社会心理学の視点から～
日時・会場	9月23日(木・祝)10:50～11:50・A会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司会	三柴 丈典(近畿大学法学部法律学科 教授)
演者	村本 由紀子(東京大学大学院人文社会系研究科 教授)

特別講演①	労災補償の行政審査と司法審査 —職業病の医学基準と法学基準—
日時・会場	9月23日(木・祝)14:20～15:20・A会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司会	田中 克俊(北里大学大学院医療系研究科 産業精神保健学 教授)
演者	中嶋 士元也(日本産業保健法学会 代表理事(法学博士))

特別講演②	労働衛生行政の動向 *産業医研修会
日時・会場	9月24日(金)13:00～14:00・A会場
開催方式	現地開催・ライブ配信・オンデマンド配信
司会	神山 昭男((医)桜メデイスン 有楽町桜クリニック 院長)
演者	高倉 俊二(厚生労働省 労働基準局安全衛生部 労働衛生課長)

特別講演③	日本医師会における産業保健の取り組み
日時・会場	9月23日(木・祝)14:20～15:20・C会場
開催方式	ライブ配信(収録配信)・オンデマンド配信
司会	水野 重樹((公社)東京都医師会 常任理事)
演者	神村 裕子((公社)日本医師会 常任理事)

教育講演①	健康情報等の取扱いと法
日時・会場	9月23日(木・祝)13:10～14:10・A会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司会	川上 憲人(東京大学大学院医学系研究科 教授)
演者	三柴 丈典(近畿大学法学部法律学科 教授)

教育講演②	ESG/SDGsは労働安全衛生の水準を引き上げるか
日時・会場	9月24日(金) 13:00～14:00・B会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司会	森 晃爾(産業医科大学産業生態科学研究所 教授)
演者	ESG/SDGsは労働安全衛生の水準を引き上げるか 永田 智久(産業医科大学産業生態科学研究所 産業保健経営学研究室 准教授)
指定発言	ESG/SDGsは労働安全衛生の水準を引き上げるか 森永 雄太(武蔵大学経済学部経営学科 教授)

## (2) シンポジウム

大会企画 シンポジウム	産業医制度の今とこれから *産業医研修会
日時・会場	9月24日(金) 9:40～11:40・A会場
開催方式	現地開催・ライブ配信・オンデマンド配信
司会	堤 明純(北里大学医学部公衆衛生学単位 教授) 森 晃爾(産業医科大学産業生態科学研究所 教授)
演者	一人ひとりの健康リスクは経営リスクだ 武藤 潤(鹿島石油(株) 代表取締役社長) 産業医業務を受託する法人の立場から 益江 毅((株)健康管理室 代表取締役・統括産業医) 心理職の立場から 長見 まき子(関西福祉科学大学健康福祉学部/EAP研究所 教授) ハイジニストの立場から 橋本 晴男(橋本安全衛生コンサルタントオフィス 所長) 健康政策の観点から 泉 陽子(東北大学東北メディカル・メガバンク機構 健康政策分野 教授) 産業医側の受け止めと願い 江口 尚(産業医科大学産業生態科学研究所 産業精神保健学研究室 教授)

シンポジウム①	神奈川SR経営労務センター事件の教訓 ～どうすればよかったのか、これからどうすべきか～
日時・会場	9月23日(木・祝) 15:30～17:30・A会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司会	吉田 肇((弁)天満法律事務所 所長、元京都大学法科大学院 客員教授、日本産業保健法学会 理事)
演者	事件の概要及び判決要旨 原 俊之(明治大学法学部 講師) 主治医と産業医の連携が必要な理由とは 神山 昭男((医)桜メデイスン 有楽町桜クリニック 院長) 産業医としてどう対応すべきだったのか？ 浜口 伝博(産業医科大学 産業衛生教授) いれば役立つ？ 心理職 高原 龍二(大阪経済大学経営学部 教授) 人事労務が骨の折れる仕事をしよう！ 森 克義(社会保険労務士法人ヒューマン・プライム 特定社会保険労務士)

シンポジウム②	化学物質管理の法政策 ～アスベスト訴訟、胆管がん問題を踏まえて～
日時・会場	9月23日(木・祝) 15:30～17:30・D会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司 会	半田 有通((一社)日本ボイラ協会 専務理事、元厚生労働省 安全衛生部長)
演 者	化学物質規制の仕組みの見直し ～自律的な管理を基本とする仕組みへ～ 中村 宇一(厚生労働省 安全課課長補佐(前・化学物質対策課長補佐))
	サプライチェーンにおける製品含有化学物質の情報伝達の課題と対応 鈴木 亨(日本ケミカルデータベース(株) グローバル・コンテンツ&サービス部 シニアスペシャリスト、元(一社)日本化学工業協会 化学品管理部 部長)
	労働組合から見た化学物質管理の改善について 漆原 肇(日本労働組合総連合会(連合)労働法制局 局長)
	化学物質取扱事業場の指導の立場から 大久保 克己(一宮労働基準監督署 副署長)
	産業保健領域での化学物質による労働災害予防、毒性学専門家として 香山 不二雄(自治医科大学 名誉教授)
	化学物質管理と法的責任 ～裁判例の検討から～ 石崎 由希子(横浜国立大学大学院国際社会科学研究院 准教授)

シンポジウム③	テレワークにおける健康管理政策と法
日時・会場	9月24日(金) 9:40～11:40・C会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司 会	鎌田 耕一(東洋大学 名誉教授)
演 者	新型コロナウイルス流行に伴い拡大したテレワークの健康影響評価(Health Impact Assessment; HIA)とエビデンス 福谷 直人((株)バックテック 代表取締役、産業医科大学産業生態科学研究所 産業保健経営学訪問研究員、京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 健康経営プロジェクト研究員)
	在宅勤務のストレスに与える要因 細見 正樹(関西大学商学部 准教授)
	テレワークの健康管理政策と法(企業における健康確保の組織的取り組み)小規模企業編 石倉 正仁(全国社会保険労務士会連合会 副会長)
	企業におけるテレワークの導入事例 ～テレワーク実施ゼロからの組織的取り組み～ 矢内 美雪(キヤノン(株) 安全衛生部 副部長)
	在宅テレワークの健康対策と法 末 啓一郎(ブレイクモア法律事務所 パートナー弁護士)

### (3) 連携学会との共同シンポジウム

連携学会との共同シンポジウム①	【日本産業ストレス学会】(シリーズ) 裁判所による産業ストレスの認定を検証する(1)
日時・会場	9月24日(金)9:40~11:40・D会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司 会	大塚 泰正(筑波大学人間系 准教授)
	小島 健一(鳥飼総合法律事務所 弁護士)
演 者	損害賠償責任と災害補償責任の成立要件と法律関係 佐久間 大輔(つまこい法律事務所 弁護士)
	労災認定基準による業務上ストレスの評価 田中 克俊(北里大学大学院医療系研究科 産業精神保健学 教授)
	作業関連精神障害のばく露要因に関する研究知見 高橋 正也((独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等防止調査研究センター長)
	裁判所による産業ストレスの認定を人事労務の立場から検証する 境 浩史((株)島津製作所 人事部 マネージャー)

連携学会との共同シンポジウム②	【日本産業精神保健学会】 労災保険受給者の復職支援と療養の在り方 ~精神障害者を念頭に~
日時・会場	9月23日(木・祝)15:30~17:30・B会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司 会	荒井 稔(東京臨海病院 特任精神科医)
	丸山 総一郎(神戸親和女子大学 名誉教授)
演 者	労災認定後の長期療養に関する調査・事例報告 黒木 宣夫(東邦大学 名誉教授、(医)宣而会 勝田台メディカルクリニック 院長)
	労災保険受給者の復職支援と療養の在り方 児屋野 文男(厚生労働省 労働基準局補償課職業病認定対策室 室長)
	ドイツにおける精神障害による労災保険受給者への給付の適正化策について ードイツ労災保険組合(DGUV)・健康保険組合(GKV)から得られた情報ー 三柴 丈典(近畿大学法学部法律学科 教授)
指定発言	指定討論 ~労災保険受給者の復職支援と療養の在り方~ 山本 和儀(山本クリニック 院長、EAP産業ストレス研究所 所長)

連携学会との共同シンポジウム③	【日本職業・災害医学会】 海外勤務者の健康問題と労災事例の検討
日時・会場	9月23日(木・祝)13:10~15:10・B会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司 会	濱田 篤郎(東京医科大学病院・渡航者医療センター 特任教授)
	中嶋 士元也(日本産業保健法学会 代表理事(法学博士))
演 者	海外勤務者の健康問題の概要と最近の変化 濱田 篤郎(東京医科大学病院・渡航者医療センター 特任教授)
	司法判断にみる海外勤務者の労災に関する問題 末 啓一郎(ブレークモア法律事務所 パートナー弁護士)
	海外勤務者の労災補償 中山 篤(中山労務安全衛生管理事務所 所長)
	海外勤務者に対する産業保健活動とその課題 鈴木 英孝(アッシュ コンサルティングサービス合同会社 代表(産業医))

#### (4) 緊急企画

緊急企画	新型コロナウイルス感染症の労務問題と法
協賛	(一財)日本予防医学協会
日時・会場	9月24日(金)9:40~11:40・B会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司会	野見山 哲生(信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室 教授) 向井 蘭(杜若経営法律事務所 弁護士)
演者	コロナ対応の基礎知識:病気の本質と施策の意義 川村 孝(京都大学 名誉教授) ウィズコロナ時代のリーガルマインド ~休職期間の延長要求・入社拒否を題材に~ 井上 洋一(愛三西尾法律事務所 弁護士・中小企業診断士・産業保健法務主任者(メンタルヘルス法務主任者)) PCR検査の義務付け、コロナと損害賠償・懲戒処分・人事考課・ワクチン接種等 岩出 誠(明治学院大学 客員教授、ロア・ユナイテッド法律事務所 代表パートナー弁護士) 新型コロナウイルス対応による休業と賃金・休業手当、労働時間短縮と兼業・副業 吉田 肇((弁)天満法律事務所 所長、元京都大学法科大学院 客員教授、日本産業保健法学会 理事) 在宅勤務と安全配慮義務 淀川 亮((弁)英知法律事務所 弁護士)

#### (5) 模擬裁判

模擬裁判	組織に適応できずに病気休職した企業内弁護士の復職判定
協賛	ピースマインド(株)
日時・会場	9月24日(金)14:10~16:10・A会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司会	圓藤 吟史(中央労働災害防止協会大阪労働衛生総合センター 所長、大阪市立大学 名誉教授) 吉田 肇((弁)天満法律事務所 所長、元京都大学法科大学院 客員教授、日本産業保健法学会 理事)
演者	職場復帰すべきと考える精神科主治医の立場から 高野 知樹((医)弘富会 神田東クリニック 院長) 復職させるべきと考える労働者側弁護士の立場から 小川 英郎(ウェール法律事務所 弁護士) 復職を拒否すべきと考える産業医の立場から 上床 輝久(京都大学医学部附属病院精神科神経科 助教) 復職を拒否すべきと考える会社側弁護士の立場から 岩出 誠(明治学院大学 客員教授、ロア・ユナイテッド法律事務所 代表パートナー弁護士)

#### (6) 事例検討

事例検討	事例発表
日時・会場	9月24日(金)15:50~17:20・D会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司会	小島 健一(鳥飼総合法律事務所 弁護士)
報告者	井上 香里(井上医院 精神科医・産業医)
パネラー(医学)	林 幹浩((株)ビスメド 代表取締役・産業医)
パネラー(心理)	大庭 さよ(メンタルサポート&コンサル東京 代表、VISION PARTNERメンタルクリニック四谷)
パネラー(法務)	淀川 亮((弁)英知法律事務所 弁護士)



## (7) 関係学問の最前線

関係学問の最前線①	(精神医学) パーソナリティ障害と発達障害の境界 –性格と病気の不可分性–
日時・会場	9月23日(木・祝) 13:10～14:10・C会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司会	高野 知樹((医)弘富会 神田東クリニック 院長)
報告者	白波瀬 丈一郎(東京都済生会中央病院 健康デザインセンター センター長)

関係学問の最前線②	(労働法学・比較法) ドイツにおける精神障害者の解雇法理
日時・会場	9月24日(金) 13:00～14:00・C会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司会	鎌田 耕一(東洋大学 名誉教授、前労働政策審議会 会長)
報告者	佐々木 達也(名古屋学院大学法学部 専任講師)

関係学問の最前線③	(産業医学) 産業保健活動の成果とは何か、それは測れるのか？
日時・会場	9月24日(金) 15:50～17:20・B会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司会	菅沼 成文(高知大学医学部医療学講座予防医学・地域医療学分野(環境医学)教授) 堤 明純(北里大学医学部公衆衛生学単位 教授)
報告者	産業保健活動の目的の明確化とアウトカム評価指標の設定を 森 晃爾(産業医科大学産業生態科学研究所 教授) 人的資源管理論の視点から産業保健活動の成果とその測定を考える 森永 雄太(武蔵大学経済学部経営学科 教授)

## (8) ワークショップ

ワークショップ①	社会保険労務士と産業保健スタッフの連携のあり方 ～働く人の笑顔を作る 事例を通して考える 社労士のこれからの使命～
日時・会場	9月23日(木・祝) 15:30～17:00・C会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司会	森本 英樹(森本産業医事務所 医師 社会保険労務士)
演者	社労士・産業医が媒介する会社と労働者とのコミュニケーション 四方 久寛(大阪労災・労働法律事務所 弁護士) 産業保健における新しい勧奨指導方法の提案 鈴木 安名((一社)産業保健メンタルヘルス研究会 代表理事) 労使のボタンの掛け違いをほどいていく 中辻 めぐみ(社会保険労務士事務所 中村・中辻事務所、株式会社インフィニティ)
指定発言	産業医の立場より社会保険労務士との連携実装を模索する 伊東 明雅(伊東労働衛生コンサルタントオフィス 代表(産業医)) 紛争の未然防止・解決に向けた社労士の役割とは？ 石倉 正仁(全国社会保険労務士会連合会 副会長)



ワークショップ②	産業保健法学と心理職 ～弁護士と心理職の協働～
日時・会場	9月24日(金) 14:10～15:40・C会場
開催方式	ライブ配信(事前収録)・オンデマンド配信
司会	島津 明人(慶應義塾大学総合政策学部 教授) 種市 康太郎(桜美林大学リベラルアーツ学群 教授)
演者	障害者雇用における弁護士との協働への期待 ～事業場内カウンセラーの立場から～ 大庭 さよ(メンタルサポート&コンサル東京 代表、VISION PARTNERメンタルクリニック四谷 エグゼクティブアドバイザー) 疾病性と事例性に加える心理性の視点 ～予防法務型経営側労働弁護士の立場から～ 小島 健一(鳥飼総合法律事務所 弁護士) 背景としての法と心理的援助 ～障害者雇用の現場から～ 佐藤 雄太(SMBCグリーンサービス(株) 東日本人事部 就業支援カウンセラー) 障害者雇用における法的対応の課題 清水 元貴((医)桐和会グループ 管理本部人事部人事課 企業内弁護士)

ワークショップ③	遠隔産業保健 ～それって法的に大丈夫？～
日時・会場	9月24日(金) 14:10～15:40・B会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司会	神田橋 宏治(日本産業衛生学会 遠隔産業衛生研究会 世話人、合同会社DB-SeeD 代表 産業医)
演者	現場で遭遇するWeb面談をめぐる事例から考える①-産業医より 守田 祐作(遠隔産業衛生研究会 世話人、日本製鉄株式会社 本社人事労政部健康推進室 産業医) 現場で遭遇するWeb面談をめぐる事例から考える②-保健師より 白田 千佳子((株)エクサ 人事部健康相談室 保健師) Web面談事例への処方箋-弁護士より 内藤 喜仁(内藤法律事務所 所長 弁護士)
指定発言	遠隔産業衛生活動の将来を考える-指定発言者より 石澤 哲郎(遠隔産業衛生研究会 世話人、産業事務所セントラルメディカルサポート 代表産業医、法務博士)

ワークショップ④	発注者・委託者の責任を考える
日時・会場	9月24日(金) 15:50～17:20・C会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司会	加藤 憲忠(富士電機(株) 大崎地区健康管理センター 産業医) 梶原 隆芳((株)梶原産業医事務所 代表取締役)
演者	下請労働者、フリーランス、副業・兼業者への安全配慮義務にみる労働法上の責任の範囲と課題 村本 浩(岩谷・村本・山口法律事務所 弁護士) 建設業における労働安全衛生の最近の動向 DXの動きとフロントローディング等の活用について 豊澤 康男(東京都市大学 客員教授、(一社)仮設工業会 会長) 発注者・委託者の責任を考える 産業医の活用 竹田 透(労働衛生コンサルタント事務所オークス 所長)

## (9) 協賛セミナー

<b>協賛セミナー①</b>	<b>産業医の誠実義務をめぐる法的リスクの検討</b>
協 賛	(株)産業予防医業機構
日時・会場	9月23日(木・祝)12:00～13:00・B会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
司 会	北田 昇平(花王(株) 全社産業医)
演 者	西脇 巧(TMI総合法律事務所 弁護士)

<b>協賛セミナー②</b>	<b>いわゆるパワハラ防止法の措置義務めぐって ～法律実務家と医療職の専門性を持ち寄って生まれるもの～</b>
協 賛	さんぎょうい(株)
日時・会場	9月24日(金)12:00～13:00・B会場
開催方式	ライブ配信・オンデマンド配信
演 者	佐倉 健史(さんぎょうい(株) 臨床心理士) 西園寺 直之(伝馬町法律事務所 弁護士) 伊東 明雅(伊東労働衛生コンサルタントオフィス 代表(産業医))

## (10) 一般演題

<b>一般演題①～③</b>	<b>マクロ×未然防止領域</b>
日時・会場	9月23日(木・祝)13:10～14:10・D会場
開催方式	ライブ配信
座 長	森口 次郎((一財)京都工場保健会 理事)
一般演題①	オンラインによるメンタルヘルス支援のあり方の検討と世界の動向 種市 摂子(東京大学大学院教育学研究科)
一般演題②	ゼロ・エラー、ゼロ・リスクを前提としないことを明示する安全衛生方針の意義と法解釈的懸念事項について 森本 宏志(山口大学)
一般演題③	予防領域の産業保健は、どこまで法で規定すべきか？ 田中 康雅(神奈川県立保神奈川県立健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科、(株)ICARE/自殺予防共創ラボ)

<b>一般演題④～⑦</b>	<b>ミクロ×未然防止領域</b>
日時・会場	9月24日(金)13:00～14:20・D会場
開催方式	ライブ配信
座 長	井上 幸紀(大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学 教授)
一般演題④	一般健康診断の法定外項目の受検に同意しない旨の申請書の作成 山元 洋之 <sup>1</sup> 、後藤 友彦 <sup>2</sup> 、井上 雅史 <sup>1</sup> 、大島 勝 <sup>3</sup> 、平松 武昌 <sup>3</sup> 、五十嵐 良典 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 東邦大学医療センター大森病院 職員健康管理室、 <sup>2</sup> (医)升谷医院、 <sup>3</sup> 東邦大学医療センター大森病院 事務部、 <sup>4</sup> 東邦大学医療センター大森病院 消化器内科)
一般演題⑤	(事例報告)メンタルヘルス不調を原因とする休職者の復職判定と労働条件調整において、 「治療と仕事の両立支援」規程を活用した例 深田 浩嗣(阪急阪神マーケティングソリューションズ(株) 総務人事局総務人事部)
一般演題⑥	多店舗展開飲食店の衛生管理規定解釈指導の事例 石田 陽子 <sup>1</sup> 、溝口 茂樹 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> (株)心陽)
一般演題⑦	臨床心理士が法律の知識を得ることによる、産業分野への活動の展開 中條 幸子(臨床心理士の経営を考える会 代表)